



草津市青少年育成市民会議
シンボルマーク

No.79
2019.11.15

編集・発行
草津市青少年育成市民会議
(事務局)
草津市草津三丁目13番30号
TEL. 077-561-6899
FAX. 077-561-6780

第35回

草津市青少年の主張発表大会

▶最優秀賞を受賞した
山中 悠希さん



草津市代表として3
名の方を県大会に推薦
しました。



▲優秀賞を受賞した
萩 彩音さん

▲優秀賞を受賞した
小久保 万里さん

7月7日(日)、草津アマカホールで「第35回草津市青少年の主張発表大会」を開催しました。市内の中学生・高校生が、自分の体験や日頃考えていることなどを堂々と発表しました。アトラクションでは、玉川中学校吹奏楽部の皆さんが素晴らしい演奏を披露してくださいました。

また、七夕の日になんで、会場の中高校生だけでなく、ご来場の皆様にも短冊を書いてもらい、笹に飾っていただきました。

目 次

- 1～3ページ 草津市青少年の主張発表大会特集
- 4ページ 「滋賀県民総あいさつ運動」顕彰受賞お知らせ

草津市青少年の主張発表大会

主催・草津市青少年育成市民会議 共催・草津市教育委員会 協賛・草津市



草津市青少年育成市民会議



発表者のみなさん

玉川中学校吹奏楽部



令和元年11月15日

若 麦

第79号(4)

大会アンケートから

●この大会に参加して良かったと思いますか？
・中高生の子もたちがどんなことに関心を持ち、感じ、気づき、行動していることが分かりました。皆さんの文章力、表現力に驚いています。(PTA、30歳代)
・気持ちのフレッシュな感じが、今年で2回目。毎年聴くことにします。(学区民会議、70歳代)
・あまりにも内容の濃い発表が多く驚いた。素晴らしい時間が過ごせました。(学区民会議、50歳代)
・中学生から学ぶことがたくさんありました。しっかりとした意見を持った中学生に真摯に向き合いたいと思う。(各種団体、60歳代)
●このような発表大会を実施することをどう思われますか？
・ネット発信が多くなってきた中で、このように直接、会場に向き、生の声を聞くことは必要だと思います。(PTA、50歳代)

平成30年度

「滋賀県民総あいさつ運動」顕彰受賞！

玉川学区 中野 宗城さん



地域のリーダーとして青少年育成活動に尽力され、地域で愛のかけパトロールを行うとともに、小学校通学路等で園児・児童・中学生を見守りながら、あいさつ活動を長年にわたり積極的に実践されている、遺跡と秋の育む玉川まちづくり推進会議会長の中野宗城さんが、平成30年度「滋賀県民総あいさつ運動」顕彰を受賞されました。表彰式は、令和元年5月23日(木)に滋賀県庁にて行われました。

・中高生が自分の考えを発表することで、周りの大人も考えさせられることもあるし、学ぶこともある。(PTA、40歳代)
・青少年に大衆の面前で自分の主張を伝える等の機会は、個人にとつて大変貴重な体験であり、自信につながると思います。(学区民会議、60歳代)
・大人の私たちも改めて気付かされる思いがありました。心に残る発表ばかりで、色々なことに気付かされました。(PTA、40歳代)
●その他、ご意見
・来年、中学生となる娘がいます。見えてこない不安が少しなくなつたように思います。もっと多くの方にも聞いていただけたらと思います。(PTA、40歳代)
・中学生は、人生の中でも大切な時間なのだと思います。吹奏楽の演奏は、すごく感動しました。ありがとうございます。(PTA、30歳代)
※アンケートへのご協力ありがとうございました。

お知らせ

草津市青少年育成大会

青少年の健やかな成長を願って熱心に活動されてきた皆さんの功労表彰をはじめ、地域で取り組まれている青少年育成活動の事例発表や講演会を行います。

と き 11月24日(日) 13:30～16:30
と ころ 草津アマカホール
内 容 市民会議会長表彰、あいさつ運動啓発優秀作品表彰・展示
事例発表 (草津市立渋川小学校)
講演ライブ「JERRYBEANS」

青少年問題をみんなでトーク

と き 12月8日(日) 10:00～12:00
と ころ 草津市役所2階特大会議室
内 容 青少年非行防止をテーマに講演グループトークを行います。
講 演 滋賀県における非行について
一少年鑑別所の取組一
講 師 大津少年鑑別所長



★9月29日(日)多賀町青少年育成町民会議との視察研修会を開催しました。詳細は次号で紹介

編 後 記

中高生代表者の熱い主張。七夕にちなんで短冊に書いてもらった想い。それぞれが天に届きますように
(広報部 小浜)

発表者のみなさん

- ①部活動と趣味、特技
- ②将来の希望
- ③発表を終えて

最優秀賞

山中 悠希

新堂中学校3年

「理学療法士としての夢」



① ソフトテニス部、読書
② 理学療法士
③ 余り緊張もせず、精一杯スピーチすることができました。それに楽しんですることもできました。幼い頃に治療を受けた経験や職場体験を通じて、成長と共に「憧れ」から「夢」へと変わっていきました。今回、この仕事の本質や、やりがいなどを発表することにより、夢への思いがより一層強くなりました。今後も理学療法士になれるように努力していきます。

《審査委員長の講評から》

小さい頃の素朴な夢から、やがて職場体験を通して具体的な姿として思い描くことができるようになり、治療するだけでなく、その人の心を支えたり、明るくさせていったりすることに価値を見いだしていく。本物の場面に学んでいくことに感動しました。

西谷 千春

老上中学校3年

「怪我から得たこと」



① バレーボール部、音楽を聴くこと
② 高校・大学に進学し、真面目に働きたい。
③ 自分の考えを発展させたり世界に向けて発信したりしている人がたくさんいて勉強になりました。もって国際社会を視野に入れた考え方ができるように努力していきたいです。

《審査委員長の講評から》

ケガで部活動が思うようにできなくなり、試合にも出場できなくなったことをきっかけのチャンス、誰にも経験できないこととして受けとめ、思ったこと、見えてきたことを仲間伝えていくことを紹介されました。

柴田 奈美

松原中学校1年

「支えられて生きている」



① 吹奏楽部、ピアノ、書道
② 人と関わる仕事
③ 周りの方々に支えられて不安なことや困難なことを乗り越えられたことに気付きました。これからも勉強や周りの関わりから学び、相手を大切に思い行動していきたいです。

《審査委員長の講評から》

人は、たくさんの人の支え、はたらかしの中で生かされていることを見失いがちになるものです。だからこそ、どのようにしていくのか、自分をよくみつめ、自分自身に問いかけ、問いかけしながら歩んでいくことの大切さを述べられました。

萩 彩音

玉川中学校2年

「飛べー心のプロペラ」



① 吹奏楽部、音楽・映画鑑賞、ピアノ、そろばん、百人一首
② 演劇が音楽に関わる仕事に就いて、たくさんの人を笑顔にすること
③ 玉川中学校伝統の「心のプロペラ活動」をもっと多くの人に知ってもらいたいと思いました。この作文が世界中に「心のプロペラ」を飛ばす第一歩になることを願っています。

《審査委員長の講評から》

「心のプロペラ運動」というあこがれのメンバーになり、その取組の中で見つけてきたこと、考えてきたことを主張されていました。心のプロペラを世界中に広めたいと述べられました。

小久保 万里

草津中学校2年

「現代の「枕草子」を書く」



① 美術部、本を読むこと、絵をかくこと
② 自分の特技が生かせる、やりがいのある職業に就きたい。
③ 身の回りの物事や、日常の何気ない「コマを言葉で表現すること」の大切さについて発表しました。たくさんの方に自分なりの「枕草子」について考えて貰えればうれしいです。

《審査委員長の講評から》

なんでもない生活の「コマに枕草子のモチーフ」をかし」というアンテナを張って、言葉にしていることについて、身の回りのかすかな動き、「コマを言葉にしていること」のすばらしさを発表されました。

芦田 明日香

光泉中学校3年

「食料の矛盾」



① 英会話部、放送部、読書、人見知りをしないこと
② 薬剤師になり、海外へボランティアに行くこと
③ 発表のときは、すごく緊張していましたが、大勢の人の前で話すいい緊張の経験になったと思います。この経験をこれからの生活に生かしていきたいです。

《審査委員長の講評から》

毎日、たくさんの食物が捨てられている現実から、世界を見渡すと、飽食の一方、飢餓が差し迫っている地球規模の問題について、控えめ、つましい生活をする中で、ものごとがうまく分かち合えると発表されました。

將野 瑞季

湖南農業高等学校食品科3年

「食物アレルギーについて」



① 将棋部、将棋
② アレルギーについて、もっと理解が広がってほしい
③ アレルギーについて、多くの方に聞いて頂けて本当に良かったと思います。中学生の気持ちが込められた発表は私の心に響きました。

《審査委員長の講評から》

小学生のころの出来事、食物アレルギーのお兄さんが命の危険にさらされるという、大変な事故を通して、ものごとを正しく知ることの大切さを訴えられました。

若

麦

大構 紗奈

高穂中学校2年

「Believe in myself」



① 吹奏楽部、音楽を聴く、歌う、ダンスをすること
② 音楽に関わる仕事、保育士
③ とても緊張しましたが、自分の思いや体験を聞いている人に伝わっていると思うと、発表してよかったなと思います。これからこの経験を生かしていけるように頑張ります！

《審査委員長の講評から》

多くの人がまわりの人の目を気にして、「目立つことはしない」と自分を守っているのではないのかと思える中、ヤングアメリカンズのワークショップに参加したことを通して、チャレンジする勇氣と希望、そしてあらたに発見した自分らしさについて発表されました。

運営協力者(玉川中学校生徒会)のみなさん

司会・表彰介添え・受付といった大会の運営について、玉川中学校の皆さんが活躍してくれました。

林家 朋哉（3年） 担当：司会

発表者の話を聞いて、今の私たちが主張しなければいけないことを堂々と主張されていたことが印象に残りました。

西村 笙汰（3年） 担当：司会

緊張していた僕に会長や他の皆さんが優しく声を掛けて下さったことでした。

谷口 華奈子（3年） 担当：市民憲章唱和

自分たちの手で何かを創り上げるといふ中々できないことを大人の方たちの手を借りて成功できたので、すごく達成感を得ました。



安達 光（3年） 担当：開会宣言

何かをやり遂げるには、気持ちを集中させることが大切だと感じました。大会にふさわしい開幕となるように元氣よく宣言できました。

塚本 優（2年） 担当：順めくり

同じ時間を過ごしている中学生なのに、経験を通して自分がすべきことや変わった所を明らかにしている所が印象に残りました。

飯田 美優（2年） 担当：表彰介添え

発表している人が身振り手振りで話していたので、話したいことがめっちゃ伝わりました。良い機会だと思いました。

房野 亜虹（2年） 担当：表彰介添え

発表している人が真剣に話している内容がとても分かりやすかったです。

保智 悠陽（2年） 担当：案内

発表者は、全員堂々と発表していて、とても聞き取りやすかったです。同じ年の人たちの堂々とした姿に驚き、印象的でした。
山口 健登（2年） 担当：案内
最優秀賞を取った方がお客様の前で堂々と力強く意志が伝わるように話していたことです。

玉川 和樹（2年） 担当：案内

このような大会を自分たちで進めるのは初めてで、とても大変でした。でも、この大会を進めることで少し達成感を感じました。

北谷 桜良（2年） 担当：受付

来場者に「ありがとっ」などの声を掛けてもらったり、「頑張っているね」などの声を掛けてもらってうれしかったです。

この大会に参加して得たもの、印象に残ったこと

福島 思叶（2年） 担当：受付

私と余り年の差がない人たちが多くの人の前で堂々と自分の主張を発表している姿がとても印象に残りました。

上城戸 ゆりあ（2年） 担当：受付

自分の主張を分かりやすく伝えるために主張したいところや大事なところを強調したり、身振り手振りをしているよかったです。



吹奏楽部長 山内 亜純（3年）



大会を運営する側として聴いてくださった人を楽しんでいただけの演奏を心掛けました。皆さんの温かい手拍子、職員の皆様のお力を借り、素敵な日になりました。

